

増やすより減らす選択を！ 50歳からの 住まいの棚卸し

こんな悩み、ありませんか？

- 子どもが独立し、今の家が広すぎる気がする
- 役職定年や再雇用後の収入が少し心配
- 親の家や相続のことも、そろそろ気になってきた
- 物が増えすぎて、片づけるだけでも気が重い
- この家にこの先も住み続けるべきか、何となく迷っている



50代からは「家」よりも街を選ぼう！



PRキャラクター
いえすみれんと

阿部 浩一

宅地建物取引士。遺品整理士（地区統括会員）。
公益社団法人全日本不動産協会東京都本部 多摩
北支部流通推進委員長。公益社団法人首都圏不動
産公正取引協議会 公正競争規約指導員。
1976年1月生まれの50歳。

相談しても答えを急がなくて大丈夫です。

 info@unsuitakken.com

合同会社うんすい宅建

東京都東村山市栄町2-41-14 ジェネシスパート2-101

TEL：042-313-0248（代行電話につながります。ご用件をお伝えください。）

宅建業免許証番号：東京都知事（2）第106280号

古物商許可：東京都公安委員会 第308912521934号



投資・資格取得・副業…。

これらはすべて「増やす選択」です。

50歳を過ぎると、若い頃に比べると体力も気力も衰えてきます。

だから「減らす戦略」で、身軽になることを考えてみませんか。

まだまだ先は長いから、がんばることが自分の生きがいやモチベーションにつながるなら、それもOKです。

だけど現状維持のために、増やし続けるくらいなら、減らす戦略で新しい世界へ踏み出してみませんか。

具体的には心とモノの整理から。そして住まいの見直しです。

まず何から始めたらいいか。ぼんやりしていて、まだ自分の考えがまとまっていない…。そんな状況からでも大丈夫。私があなただけのお手伝いをさせていただきます。

■使わなくなりそうな実家のこともご相談ください

親御さんから受け継いだ実家や相続不動産の放置は、資産価値の低下や倒壊や環境悪化を招き、近隣等からの損害賠償請求につながる恐れもあります。

また、壊すしかないと思われがちな古家にも、必要とする人へ引き継いだほうがよいものがあります。当社では古い家や空き家を再生し、次の住まい手へつなぐ取り組みを行っています。

地方の実家や空き家のことについてもご相談ください。

 **info@unsuitakken.com**

合同会社うんすい宅建

東京都東村山市栄町2-41-14 ジェネシスパート2-101

TEL：042-313-0248（代行電話につながります。ご用件をお伝えください。）

宅建業免許証番号：東京都知事（2）第106280号

古物商許可：東京都公安委員会 第308912521934号

